

貸借対照表

2021年3月31日 現在

株式会社MACオフィス

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	888,554	流動負債	366,441
現金及び預金	653,630	買掛金	165,595
売掛金	137,664	未払金	25,286
貯蔵品	44	未払費用	13,975
仕掛工事等	57,296	未払法人税等	192
前渡金	263	前受金	138,569
前払費用	23,782	預り金	3,301
未収入金	1,052	一年以内返済長期借入金	15,842
貸倒引当金	-828	賞与引当金	3,678
仮払法人税等	9,158		
未収消費税等	6,488	固定負債	402,690
固定資産	71,400	長期借入金	380,690
有形固定資産	9,055	社債	22,000
設備造作	12,761		
工具器具備品	9,241		
一括償却資産	248		
償却累計額	-13,196		
		負債合計	769,131
投資その他の資産	62,345	(純 資 産 の 部)	
出資金	5	株主資本	190,223
敷金	20,236	資本金	81,700
長期貸付金	20,000	資本剰余金	11,700
保証金	6,915	資本準備金	11,700
長期前払費用	7,913		
積立保険料	7,275	利益剰余金	108,823
		その他利益剰余金	108,823
		繰越利益剰余金	108,823
		(うち当期純利益)	(-48,099)
		自己株式	-12,000
		新株予約権	600
		新株予約権	600
		純資産合計	190,823
資産合計	959,954	負債・純資産合計	959,954

個別注記表

2020年4月1日～2021年3月31日

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しております。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - たな卸資産の評価基準及び評価方法
仕掛品は個別法による原価法、貯蔵品は最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - (a) 有形固定資産
定率法を採用しています。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)並びに平成28年4月1日以降に取得した附属設備及び構築物については定額法を採用しています。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっています。
 - (b) 無形固定資産
定額法を採用しています。
 - (c) リース資産
リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - (a) 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上しています。
 - (b) 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
 - (c) 役員賞与引当金
役員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
 - (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項
 - (a) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
 - (b) 繰延資産の処理方法
社債発行費は支出時に全額費用として処理する方法を採用しています。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項
 - 発行済株式
 - 普通株式(発行済株式)
 - 前期末株式数(発行済普通株式).....1,556株
 - 当期増加株式数(発行済普通株式).....0株
 - 当期減少株式数(発行済普通株式).....0株
 - 当期末株式数(発行済普通株式).....1,556株
 - (2) 自己株式の種類及び株式数に関する事項
 - 自己株式(種類及び株式数)
 - 前期末株式数(自己株式).....80株
 - 当期増加株式数(自己株式).....0株
 - 当期減少株式数(自己株式).....0株
 - 当期末株式数(自己株式).....80株
 - (3) 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項
 - 新株予約権の目的となる株式の種類
 - 普通株式
 - 新株予約権の目的となる株式の数.....600株
 4. 1株当たり情報に関する注記
 - (1) 1株当たりの純資産額.....129千円
 - (2) 1株当たりの当期純利益額又は当期純損失額.....-32千円